

雁が音 ~かりがね~

第18号

発行日：平成25年9月27日

発行者：江戸崎総合高等学校

PTA広報委員

印刷所：倉沢印刷株式会社



いあいさつ

PTA会長 柱井 礼子

前年度に引き続き、二十五年度PTA会長を務めさせて頂いております柱井です。会員の皆様には常日頃PTA活動にご理解とご支援、ご協力を賜り深く感謝を申し上げます。

さて、PTA事業も五月の総会を皮切りに、八月まで順調に済んでおります。また、エアコン導入に関して生徒・会員の皆様、随先生方には、アンケート等、半年あまりをかけてご協力頂いたことに感謝致します。総会での承認が必要のため、本年度からの導入が間に合わず、大変申し訳ありませんでした。

九月からのPTA事業も始まっておりませんが、本年度の「江陵祭」は一般公開の予定です。多くの会員の皆様に学校に来て頂き、子ども達が実行する「江陵祭」を一緒に成り功させて頂きたいと思っております。また、PTAでも出店致しますので、ぜひご協力・ご支援頂ければ幸いです。

「手をかける」のが

学校や親の仕事

学校長 根崎 敏美

ある新採教員の研修復命に「生徒指導は『声をかける』『目をかける』『心をかける』ことである。」という報告があった。まさに言い得て妙である。私は「ふれあい」のないところに教育は存立しないと考えている。我が身を振り返ってみると思うが、幼・小・中・高校時代と長い自己確立期での親や教師の影響力は極めて大きいと言える。子どものその後の人生観に大きな影響を与えようと思う。

だからこそ「手をかける」ことは絶対必要だと思ふ。中にはもちろん「手のやける」子どももいる。しかし、一生懸命取り組み、魂を揺さぶることは可能だ。最後は心が通じるものである。

私は基本的には、手をかけ、細かい心のヒタの部分まで手をやいて育て上げていくことが、親や教師の仕事ではないかと考える。

教頭あいさつ

教頭 羽生 昭男

私は、江戸崎高校と江戸崎西高校が合併する前の平成元年から平成七年まで江戸崎高校に勤務しており、この度、江戸崎総合高校に十八年ぶりに戻って参りました。本校は、生徒の興味、関心や将来の進路を考えて系列を選択できる総合高校に生まれ変わっておりました。

さて、七月には全校で野球応援に行つて参りました。応援委員をはじめ一般生徒、野球部の保護者、教職員が一体となつて応援できたことは江総の誇りだと思います。

八月には、稲敷市身障者のスポーツ大会を振替しました。本校ボランティア委員の生徒が道具の準備や片付けをし、吹奏楽部が演奏を行いました。身体の不自由な方への支援や援助に精一杯取り組むなど、生徒が地域で意欲的に活躍する姿は、「地域連携」を大事にする「江総の教育の柱」であると思います。保護者の皆様、今後も教育活動にご協力をお願いいたします。

生徒指導部より

生徒指導部長 横田 正幸

より良い人間関係

四月の始業式のとき、二・三年生を前に、私は「より良い人間関係を築いていきましょう」という話をしました。

今の時代は、価値観が多様化し、人間関係も自由化しています。ですから合わないやつとは付き合わなくても良いなど、不本意な生き方を強制されることは少なくなりました。しかしその一方で、今の仲間から自分が排除されるのではないかという不安も、常に付きまとうようになりました。仲間の輪から外れないようにするため、仲間にウケるキャラを演じ、周りの反応を見て行動することも多くなっているように思います。

今は、自分の信念とか本心というものが出しにくくなつてきているのかもしれない。しかしそういうストレスを抱えながら、不安におびえながら周りを気にする生き方は、どこかで破綻するでしょう。周りを気にするのではなく、周りに気を遣える大人になつて欲しい。その先に、より良い人間関係があるように思います。

進路指導部より

進路指導部長 仁林 拓也

七月から求人票の受付が始まり、昨年より求人数が増えたものの、近隣の高校の求職者が大幅に増加し、就職難の時代は続きそうです。就職は決まっても自動車教習所に通えず入社までに免許が取れないために内定取消になる事例や、進学でも、希望校に合格したものの授業料が払えず辞退する事例も増えていきます。

また、奨学金で自力進学を目指す生徒もいますが、保護者のバックアップがなければ難しいことです。入社・入学前に必要なお金の件で苦しむ生徒が増えていく現状を知つて、事前に準備をしていた方がいいと思います。



面接練習

HTに聞きました

マクジで一生懸命。たろく

一年一組 浅野 壮明
家を建てたいです。

二年五組 油原 一郎
海外の海の見えるゴルフ場を貸し切つて、油原杯をやる。

一年二組 田上 明子
プール付き、遊園地付きの保育所を開きたいです。

二年六組 榎崎 美穂
タイムマシンを造つて、気になる「あのこと」を解明する。

一年三組 前嶋 摩澄
世界中の恵まれない人々のために活動している団体に寄付します。

三年一組 大塚 健司
家を建てリフォームする。

一年四組 大室真由美
豪華客船クルーズで世界一周

三年二組 工藤 希
世界各地に家を建て旅行しまくる。アディダスを店ごと買い占める。

一年五組 道川 俊
パン屋を開業する。

三年三組 高山 祥幸
フェラーリ・ポルシェを買います。

二年一組 谷畑 律子
別荘でも建てますか。

二年二組 吉田 健介
半分は旅行に使つて、残りの半分で宝クジを買います。

三年四組 坂本 典子
離島に移住して、ロハスライフを送ります。

二年三組 藤田 和摩
借金を返して、残りは借宿(ルーマニア)の旅費に充てる。

三年五組 柳澤 光昭
ラーメン屋を開く。

二年四組 飯塚 尚人
デイズニー貸切で花火大会

三年六組 石橋あゆみ
豪華客船で世界一周旅行。船内ではスパやジムで過ごす。

PTA活動報告

生徒指導委員

委員長 山本真佐美
朝の登校指導が七月一日から始まり、役員や生徒交通委員、そして先生方と共に、生徒の登校する様子を見ています。

また、七月二十七日の、江戸崎の祇園祭では、校長先生、渉外部の津路先生、井会長はじめ、役員の皆様のご協力を得て無事巡回を行いました。
十月には文化祭があります。今年是一般公開で盛大に行われますので、PTA会員の皆様には是非ご参加頂き、会員同士の親睦を深め、楽しく行事に取り組んでいきたいと思っております。

広報委員

委員長 河野真奈美
初めて「雁が音」を読んだ下さった皆様はどのような感想を持たれたでしょうか。年に二度ですが、広報委員と先生方とでいろいろな案を出しながら頑張って作成しております。皆様にご覧いただきたいと思っておりますが、限られて

た範囲の中で、上手く伝えられないこともあるかと思いますが、一人でも多くの方々に楽しみながら読んで頂けたら、私達も嬉しく思います。後期の「雁が音」もぜひ楽しみにして下さい。

研修委員

委員長 東郷 知子
研修委員の活動は、主にPTA研修の企画と実行です。今年度は研修旅行として、盛夏の七月二十八日に東京スカイツリーに行つて来ました。事前準備、役割分担など、みんなで協力しあつて実行することができました。

PTA活動の活性化のために、先生方と保護者皆様方の親睦を深められるよう企画をしております。「研修に参加して良かった」と思つて頂けるよう役員一同頑張つております。最後に、今年度参加して頂いた皆様、ありがとうございます。

研修旅行に参加して

研修委員 野口 美紀
七月二十八日に保護者、先

生方三十七名で東京スカイツリーへ行って来ました。天気にも恵まれ、楽しく充実した研修旅行になりました。

スカイツリーでは展望デッキに上り、東京の街を一望しました。空気が澄んでいる日だと富士山や筑波山が見えるそうです。

お昼は両国国技館前でちゃんこ鍋を頂きました。料理を囲みながら、普段なかなかお話をすることができない先生方や他の保護者の方々とお話できて大変良かったと思っております。

午後からは、東京ソラマチで散策を楽しみました。研修旅行は会員なら誰でも参加できます。私達保護者は学校に行く機会がなく、三年間でお話しするのは担任の先生や部活動の顧問の先生程度ですが、研修旅行は他の先生方とお話をする良いきっかけとなります。来年はぜひ多くのご参加をお待ちしています。



渉外部PTA連絡主大会

渉外部 津路 義明

「未来を彩れ人の輪」をスローガンとして、今年度の大会は七月三日、四日の二日間、埼玉県の大宮ソニックシティで開催され、PTA本部役員三名と参加しました。一日目の全体会では、脳科学者として有名な茂木健一郎氏から「子どもの未来を豊かにする親の知恵」という演題で記念講演を聞きました。子どもとの関わり方、親の責任を考えさせられた素晴らしい講演でした。

二日目の分科会では、「家庭教育とPTA」と題し、千葉県立柏高等学校と茨城県立下館工業高等学校の発表を聞きました。特に下館工業高校の学年PTA活動による取り組み「親から我が子への手紙」は、二年生の修学旅行先(沖縄)で、親からの手紙を生徒一人ひとりに手渡し、親の思いを子どもに伝えるといった内容のものでした。その手紙を読んだ子どもから、親には秘密で沖縄から返事を書かせ、子どもへの親への思いを伝え、親子ともに素晴らしい感動が得られた、とのことでした。

これらの事例から、親子、生徒と先生、学校と家庭のあり方について考えさせられた二日間でした。

西園寺(Comet)祭

松本 博志

本校正門に建つ、給学の碑には、こう刻まれています。「盛年重ねて来たらず、一日再び展(あ)したなりがたし、時に及んで勉勵すべし、歳月人を待たず。」若い盛りの時期も、今日という日も二度と訪れることはありません。いつやりますか?今でしょ。今こそ勉勵すべき時、どうせなら楽しくやりたいよね。

PTA活動を有意義な時間にするために徹底的に楽しみましょう。ねっ、今でしょ。





結果

総合優勝 3年3組

準優勝 3年1組

第3位 2年1組

サッカー優勝 3年3組

バスケットボール優勝 3年4組

キックベース優勝 3年3組

バドミントン優勝 2年1組

大縄跳び

1年次優勝 2組

2年次優勝 5組

3年次優勝 1組



H25年度

クラスマッチ



6月6日(木)・7日(金)の2日間にわたり、クラスマッチが行われました。各競技、優勝目指してクラスが一丸となって努力してきました。熱戦が各競技で繰り広げられ、勝利に歓喜するクラス、敗戦に涙するクラス、様々なドラマがあり、多くの感動と思い出を各クラスで共有することが出来ました。



部活動紹介

主な活動成績



馬術部

第84回関東高等学校馬術リ-グ戦 第二位(団体戦)
第50回関東高等学校馬術選手権大会 第二位

武藤 雅(二年二組)

第47回全日本高等学校馬術競技大会出場(団体戦)

第24回全日本高等学校馬術選手権大会 第二位

武藤 雅(二年二組)

弓道部

関東大会 男子団体 優勝
関東大会 個人技能優秀賞

如 映祐(三年二組)

関東大会 個人第八位

文隆 智也(二年六組)

陸上部

県学年別大会 女子槍投げ 第五位

渡辺 亜美(二年三組)

卓球部
男子シングルス 地区大会 第3回戦進出

演劇部

県高校新人大会 最優秀俳優賞

鈴木 聖弥(二年三組)

バスケットボール部

関東大会地区予選 二回戦進出

剣道部

全国高校剣道大会予選会出場

吹奏楽部

県南地区高校音楽会出場

サマーコンサート

メカニカルテクノ部

第15回電子ロボットと遊ぶアイデアコンテスト特別賞

★このほかにも多くの部が活躍しています。これからも温かな応援をお願いします。

硬式野球部

今年度は県大会ベストエイト進出を目標に頑張りました。一回戦敗退でしたが悔いはありません。応援ありがとうございました。



陸上部

私達は、成績上位を目指して日々の練習に励んでいます。練習以外にも球技や食事などの楽しいレクリエーションもあります。



サッカー部

私たちは二十五名で活動しており、大会に向けて、毎試合の反省をもとに、日々練習を行なっています。



硬式テニス部

部員は四名と少ないですが、技術アップができるよう、様々な工夫を重ねて練習に励んでいます。

卓球部

今年から正式に外部コーチが指導に来てくれるようになり、卓球部は新たなスタートを切りました。



バスケットボール部(男子)

私達は十二名の部員で、県大会出場を目標に日々の練習に励んでいます。



バスケットボール部(女子)

私達は部員十二名という少ない人数ですが、県大会出場という目標に向かって日々練習に励んでいます。



弓道部

正射必中を常に追い求め、人格的にも優れた選手になるべく、日々練習に励んでいます。今のテーマは「魅せる部活」です。



剣道部

私達は九名で活動しています。部員のほとんどが初心者ですが、剣道を通して礼儀正しさが身につくよう、日々練習に励んでいます。



馬術部

関東大会では団体戦、個人戦ともに第二位に入賞し、今年も全甲大会への出場を果たすことができました。



写真提供：ユナイテッドフォトプレス

ソフトテニス部

部員は六名ですが、少ない部員で力を合わせ、勝利を目指す中で人間力をつけられるように努力していきたいです。

バレーボール部

現在男子二名のため、なかなか集まって活動するのが難しい状況です。経験の有無を問わず、部員募集中です。



吹奏楽部

部員が十一名と少人数での活動ですが、夏のコンクールや地域での演奏会に向けて、部員一同、心を一つにして練習しています。



演劇部

お客様に、劇を観て楽しんでいただくために、「楽しく全力で劇作り」をモットーに日々活動しています。



写真部

私達は、現在二十六名で活動しています。初心者が多いですが、日常生活の様々な場面を大切に、撮影しています。



メカニカル部

私達は現在五名で活動しています。十二月の電気自動車大会に向けて、マシンを製作中です。また、小学生向けの電気自動車も作っています。



情報処理部

活動日は月・火曜日で、各自ビジネス文書実務検定やその他情報系の資格取得に向けて、練習に励んでいます。

イラスト同好会

私達は現在十五名で活動しています。同好会から活動への昇格を目指し、コンクールに応募したり、独自企画を考え、意欲的に活動しています。

文芸同好会

私達は現在十名で活動しています。各自のペースで小説を執筆しています。今年度は、文化祭において小冊子を配布することを目指しています。

行事をふり返って 4月～9月

始業式/入学式/新入生オリエンテーション
/保護者紹介/二学期開学/各種行事/運動会



身体測定・体力テスト/PTA総会/生徒総会/第1回中間考査
/進学課外研修/栃木県対県運動会ガイダンス/2年次対県運動会ガイダンス
/運動会/3年次運動会ガイダンス/3年次運動会/3年次公開演・加藤健児



クリスマスマッチ/3年次三学期開学/交通安全教室/第2回中間考査
/校外研修/ビジネス文書実習/英検模試/漢字検定
/3年次運動会ガイダンス/公開演劇/運動会

野営研修/三省研修/就職式/夏季進学課外/校外模試
/ガス研修/福祉研修/2年次福祉実習/北海道体育実習
/農業クラブ大会/3年次運動会/3年次公開演・模範模試/運動会

オープンスクール(中学生対象)/夏季進学課外
/3年次福祉実習/アーク福祉実習
/3年次公開演・模範模試/公開演劇



始業式/就職面接指導/就職模試/就職考査
/模範模試/学殖本休養日
/校外模試/3年次運動会



北海道体験実習

油原 一郎

北海道体験実習が七月二十九日から約二週間実施されました。本実習は、酪農体験をとおして職業観・勤労観を啓発し、将来の進路選択に資することを目的として実施しています。北海道の別海町で、生徒はファームステイをしながら朝の四時から日暮れまで、牧場の手伝いを行います。

さて、猛暑となった北海道でも、道東の別海町は雨や曇りの日が多く連日最高気温が二十度という涼しさでした。生徒たちは農家の家族との交流や牛との触れ合いをとおして、沢山のことを学びました。参加者Yさんの実習日記には「乳の出なくなつた牛が売られてしまふ現場を見たり、人工授精するところを見学して、これまで想像していた酪農とはかなり違う一面を知つて大変ショックを受けた。」との経験談がありました。

本実習は子どもたちを成長させる良い機会です。次年度、お子さんが希望したら、ぜひ、参加させてあげて下さい。



農場だより

農場長 河原井勝弘

農業クラブの二つの活動を紹介します。一つ目は、来年二月に行われる稲敷市の「あけ餅自慢大会」に参加するために、もち米の栽培から取り組んでいることです。もち米の品種は「マンゲツモチ」で、稲敷でも数多く栽培されています。四月に種まき、五月に田植えをして、無農薬で栽培しています。生徒が真剣に取り組んでいる様子が、HPからもご覧になれます。

二つ目は、スイーツ甲子園の参加です。食品コースの二年生が考案したスイーツは、稲敷の特産品を使った「イチジク入りカボチャパイ」です。食品製造の授業で作りました。写真で応募しましたが、全国で七八五チームの応募があり、残念ながら地区大会に参加することはできませんでした。

最後に、今年の文化祭は一般公開です。農場の生産物を数多く揃えてお待ちしております。



農産物販売

10月～トマト、白菜、キャベツ、ブロッコリー、レタス
12月～シクラメン、いちご

※機材の出ている日は事務室前で販売しています。是非お立ち寄り下さい。

エアコン設置アンケート結果

去る五月十一日、PTA総会が開催され、エアコン設置に関する協議が行われました。昨年度に依頼したアンケートの結果をもとに、総会で承認を受け、設置する運びとなりました。次年度の稼働に向けて準備が始まります。

副委員長 小泉由美子

夏も終わり、季節は秋。もうすぐ文化祭です。今年是一般公開のため気合いが入りますねー

見やすい、わかりやすい広報誌を目指し、この「雁が音」は昨年からの写真を多めに掲載しています。皆さんと一緒に楽しい誌面を作っていきたいと思っておりますので、ご意見、ご要望があれば広報委員まで連絡をお願いします。